

ひこねエコマーケット

「内容」家庭で不用になった物や手作りの品を提供するフリーマーケットです。〈日時〉5月30日(日) 午前10時30分〜午後3時(雨天中止) 〈場所〉市立病院(八坂町 彦根市立病院ふれあいまつり会場内) 〈申込期限〉5月20日(水) 〈出店料〉1ブース500円 〈問い合わせ先〉(株)生活環境課 ☎30・6116番、FAX 27・0395番 〈申込方法〉往復はがきの往信の裏面に①住所②氏名③電話番号④出店品目⑤出店者人数⑥搬入に使用する車両のナンバー⑦出店希望日を、



ひこねエコマーケット会場の様子(昨年)

返信の表面に①住所②氏名をそれぞれ書いて、(株)生活環境課(Tel.0522-85001 元町4-2)まで郵送してください。

男の生き方セミナー

おとこ塾

これが男の生きる道

「内容」これからの人生をもっと楽しく元気に過ごすために料理作りや、大学教員や地域で活躍する人などから、心豊かに生活するヒントを伝授していただきます。最終回は、次世代交流としてウイズおやこ広場に参加している子どもと一緒にイベントを楽しみます。〈開催日等〉下表のとおり 〈時間〉いずれも午前10時〜正午(第4回のみ午前9時〜正午) 〈場所〉(男女共同参画センター「ウイズ」(平田町)会議室・調理実習室) 〈対象〉市内に在住・在勤・在学の男性 〈費用〉1,500円(全5回)(第2・4・5回合わせて別途材料費3千円) 〈定員〉20人(先着順) 〈申込期間〉5月1日(金)〜同29日(金) 〈持ち物〉▼第2・5回 エプロン、三角巾、ふきん2枚 〈託児〉1人1回300円(0歳〜就学前 要予約) 〈申込・問い合わせ先〉(男女共同参画セ

ンター「ウイズ」 ☎・FAX 24・3529番 ※電話、FAX、または直接窓口で申し込んでください。

Table with 2 columns: 月日 (Date) and 内容 (Content). It lists five events from May 30 to August 8, including topics like 'How to live well in life', 'Men's kitchen', and 'Watercolor challenge'.

手話奉仕員養成講座後期(基礎)

「内容」聴覚障害のある人のコミュニケーションの円滑化を支援するために、障害福祉の概要や手話の基礎を学びます。手話で自分の考えや意見を伝えられて、聴覚障害のある人と自由に会話できる人を養成することを目的としています。〈日時〉6月4日(休)〜平成28年3月10日(休) 午後7時〜同9時ほか(全27講座) 〈場所〉(障害者福祉センター(平田町)多目的室ほか) 〈対象〉手話奉仕員養成講座前期(入門)修了者で手話の学習または活動を継続している人が、手話サークルなどで活動歴が2年以上かつ簡単な日常会話を手話でできる人で、次のA・Bを満たす人 A 全課程を履修できる人 B 18歳以上(高校生を除く)で市内に在住・在勤・在学の学生の人 〈定員〉20人(申込者多数の場合は抽選) 〈申込期間〉5月1日(金)〜同15日(金) 〈参加費〉3,240円(教材費) ※イベントなどへの参加費は自己負担 〈その他〉都合により、日程や会場を変更する場合があります。 〈申込・問い合わせ先〉(障害者福祉課(Tel.522-00041 平田町59

4) ☎27・9981番、FAX 26・1767番 ※(障害者福祉課、総合案内(市役所1階)支所、出張所にある申込用紙に必要事項を書いて、(障害者福祉課に直接申し込むか、郵送またはFAXで申し込んでください。

第1回荒神っ子クラブ

「趣旨」子どもたちが、日常生活では味わうことのできない野外体験活動をする日帰りキャンプです。自然の中で、思いっきり遊んでたくさんの方と友達を作り、楽しい1日を過ごすしてみませんか。〈活動内容〉野外クッキング、レクリエーション、キャンプ作り。〈日時〉6月7日(日)午前10時〜午後4時(受付は午前9時30分) 〈場所〉(雨荒神山自然の家(日夏町)) 〈対象〉小学4〜6年生 〈定員〉20人程度(先着順) 〈申込期間〉5月1日(金)〜同17日(日)(7・11日は休み)の午前8時30分〜午後5時15分 〈参加費〉千円(野外クッキング材料費) 〈その他〉参加者には後日詳しい案内を送付します。 〈申込・問い合わせ先〉(雨荒神山自然の家 ☎28・1872番 ※電話かFAXで申し込んでください。

にいた頃、地元の隣にあるサン・パウロ市へよく遊びに行きました。サン・パウロ市に住んでいる友達と一緒にレストランに行ったときに、店員にお金を支払った後、ずっとおつりを待っていました。そうすると、「ここはサン・パウロだから、そんな小さいお金のおつりは返ってこないよ」と友だちから言われました。私は「おつりが出ないなんてありえない…せめて鉛ちゃんぐらい!」と思うほどショックでした。

その出来事から数か月後、私が通っていた大学にアメリカから講師が来ました。その講師は、私が街を案内した時に、どの飲食店に行ってもどうしても店員にチップをあげたくなりました。「ブラジルでは店員にチップをあげる習慣がないから、しなくてもいいのよ」と言ったら、講師は「アメリカではチップを出さない人がとても無礼に見えるので嫌だ」と答えました。「なるほど〜」と、私は講師の考えに納得しました。店員がきちんとおつりを返さないことをありえないと思う人もいれば、店員にチップをあげないことをありえないと思う人もいることに気づきました。

文化の違いって不思議なこともあります。考え方を広げることでもできるのではないのでしょうか。

【彦根市国際交流員 ナターリャ】

ナターリャの部屋

第11回 鉛ちゃんのおつり

私が教師を務めている『多文化交流教室』では、ポルトガル語やブラジル特有の文化を教えています。その授業で紹介した文化の一つに、生徒があげんとした文化があります。それは、ブラジルのおつりの出し方です。

ブラジルには「鉛ちゃんのおつり」という習慣があります。例えば、パン屋に行って、3.42リアル(ブラジルの通貨)のパンを買ったとします。細かいお金がないので5リアルで払うと、1.58リアルのおつりが返ってくるはず。しかし、実際に返ってくるおつりは1.55リアルと、3個の鉛です。これが「鉛ちゃんのおつり」です。

つまり、ブラジルでは0.01から0.04リアルまでの金額はお金で返ってくるのではなく、鉛やガムなどのお菓子で返ってくるのが珍しいのです。

そのおつりの出し方が気に入らないブラジル人もいますが、最近では、地域によって小さい金額のおつりを全く出さない店もあります。ブラジル



▲母語教室の一場面(昨年)

「内容」ポルトガル語の母語教室を持つ子どものための教室です。ポルトガル語やブラジルの文化を学びます。ポルトガル語や子ども自身がつながりを持つ国の文化を知ること、親とよりよいコミュニケーションをとることができ。〈日時〉6月13日〜平成28年2月20日(月2回、土曜日に開催。全18回)の午前10時〜正午 〈場所〉(大学サテライト・ブラザ彦根(アル・ブラザ彦根6階大東町)) 〈対象〉市内に在住・在学の小・中学生でポルトガル語を母語とする人 〈定員〉15人(先着順) 〈費用〉無料 〈申込期間〉5月1日(金)〜6月12日(金) 〈講師〉ナターリャ・アブレウ(彦根市国際交流員) 〈その他〉初回は保護者と一緒に参加してください。趣旨や学習内容などを説明します。

送迎はありません。 〈申込・問い合わせ先〉(人権政策課 ☎30・6113番、FAX 24・8577番 ※電話で申し込んでください(ポルトガル語の通訳がいます)。

全国戦没者追悼式参列者

「内容」8月15日(日)に日本武道館で開催予定の全国戦没者追悼式に参列する遺族を募集します。〈対象者〉原則として戦没者(原爆、一般戦死戦没者を含む)の配偶者、子、父母、兄弟姉妹、孫(原則1柱1回限り)で、8月14日(金)・同15日(土)の1泊2日の団体行動ができる人(介護者の同行可) 〈定員〉滋賀県内で50人(応募者多数の場合は抽選) 〈参加費〉5千円程度 ※介助者の参加費用(交通費、食費など)は全額自己負担 〈募集期限〉5月31日(日)(当日消印有効) 〈申込・問い合わせ先〉(園健康福祉政策課保護・援助担当(Tel.5220-8577 大津市京町四丁目1) ☎077・5228・3514番 ※はがきに①郵便番号、住所、氏名、生年月日、性別、戦没者との続柄、電話番号、介助者の有無、②戦没者の氏名、本籍都道府県名、陸軍・海軍の別を書いて申し込んでください。